



©2010熊本県くまモン

《発行》2025年11月
熊本県東京事務所
くまもとセールス課
〒104-0061
東京都中央区銀座5丁目3-16
銀座熊本館3階
☎03-3572-5021



熊本県のユニークな図書館



読書の秋ですね。今月は熊本県内にあるユニークな図書館をいくつか紹介致します。

【1】こども本の森 熊本〔熊本市中央区〕

建築家・安藤忠雄氏の「未来を担う子どもたちの豊かな感性や想像力を育むため、さらには熊本地震からの復興を応援したい」との思いから贈られた図書館で昨年4月8日にオープンしました。児童書や漫画約1万冊が壁一面に並びます。屋外を含む館内の好きな場所で読書ができ、読み聞かせもOK。子どもはもちろん大人も楽しめる空間となっています。

開館時間：9:30～17:00（最終入館 15:30）

休館日：毎週火曜日、毎月最終金曜日、館内整理日、蔵書点検期間、年末年始

※入場には予約が必要です。1回の滞在時間は100分（最終4回目は90分）完全入替制

予約URL: <https://reserva.be/kodomohonnomori> 2週間前から予約が可能

（問）こども本の森 熊本 096-240-1500



こども本の森

【2】合志市立西合志図書館〔合志市〕

全国でも珍しい天文台を併設する図書館です。一般蔵書数は約2万点で貸出率は県下トップクラスを誇ります。図書館の2階にある天文台は40cmの反射望遠鏡をはじめとする各種望遠鏡を備え、さまざまな天体を観測することができます。土曜日には観察会が実施され、合志市内・市外在住を問わず無料で入場できます。

開館時間：図書館 10:00～18:00（土曜日～20:00）休館日：月曜、毎月末日、年末年始

天文台 毎月第1,2,3土曜日（4～9月）19:30～（10月～3月）19:00～

（問）合志市立西合志図書館 096-242-5555



合志市立西合志図書館

【3】宇城市不知火美術館・図書館〔宇城市〕

熊本県内初のツタヤ図書館でスターバックスコーヒーが併設されています。年中無休かつ21時まで開館の充実ぶり。図書の予約・貸出にはLINEアプリも使用でき、借りた本はコーヒーの香りとともに楽しむこともできます。また約1万冊の絵本を備えた「こども絵本のいえ」も併設。お子様連れの方も気兼ねなく本を選ぶよう配慮されています。

開館時間：図書館 9:00～21:00 こども絵本のいえ 9:00～18:00 年中無休

（問）不知火図書館 0964-32-6211



不知火美術館・図書館

【4】南関町図書館〈このみch-i〉（このみち）〔南関町〕

今月8日に温泉施設をリニューアルオープンした複合施設〈ukara〉の中にある図書館〈このみch-i〉です。2つの名称はこの町で生まれた詩人・北原白秋の詩から採られています。従来の図書コードに従って棚に本を置くのではなく「かぜ」「ぶんか」など1つの言葉に関連し、そこから展開する“ブラウジング”方式で図書が配架され、本を探すのではなく「本と出会う」図書館を目指しています。

開館時間：図書館 10:00～19:30 休館日：月曜日

（問）南関町図書館〈このみch-i〉 0968-53-3746

南関町図書館〈このみch-i〉

南関町総合交流施設〈ukara〉 0968-53-3766



今月は県の南部、人気アニメ「放課後ていぼう日誌」の舞台となり『訪れてみたい日本のアニメ聖地88（2024）』にも選ばれた芦北町をピックアップ！

◆芦北町立星野富弘美術館

昨年4月28日に逝去した詩人・画家の星野富弘氏の作品を展示している美術館です。群馬県出身の星野氏は教員時代の事故が原因で首から下の自由を失い、口に筆をくわえて文や絵を描きはじめました。約30年前に熊本県内で詩画展を開催したことがきっかけで平成18年（2006年）5月、群馬県みどり市の「富弘美術館」の姉妹館としてオープン。やわらかなタッチの植物の絵や心に響く詩を鑑賞しながら、心温まるひと時をすごしませんか？

開館時間：9:00～17:00 休館日：第2、4月曜日（休日の場合は翌日）、年末年始
入館料：大人 500円/小中学生 300円

（問）芦北町立星野富弘美術館 0966-86-1600



星野富弘美術館

◆「放課後ていぼう日誌」

月刊ヤングチャンピオン烈に連載中で令和2年(2020年)に全国放映された漫画「放課後ていぼう日誌」の舞台となったのが芦北町です。モデルとなった堤防、海水浴場、高校、芦北大橋等へ「聖地巡り」として訪れる人が絶えません。

※個人所有の敷地、学校等には許可なく入り込まないようご注意願います。

※聖地巡礼マップを当館観光コーナーに用意しております。

（問）芦北町商工観光課 0966-82-2511



佐敷駅

◆薩摩街道と佐敷城跡

鹿児島から薩摩街道の最大の難所と言われた佐敷太郎峠を越えると城下町佐敷。佐敷城は鹿児島との境を守る境目の城として16世紀後半に築られました。現在は石垣が復元され、歴史公園となっています。また、佐敷の街並みは古い土蔵や商家の看板などが今も残ります。建物が通りに対して斜めに建てられている様は「のこぎり家並」と呼ばれ、敵を待ち伏せするためのものと言われていいます。

（問）芦北町商工観光課 0966-82-2511



佐敷城跡

◆アジアカエビ

アジアカエビは芦北町の特産。当地周辺以外には出回らないため“幻のエビ”とも称されます。観光シーズンでない冬の間、うたせ船を使ってアジアカエビの漁が行われます。県の魚・クルマエビに負けないほど大きく、味も甘みが強いのが特長です。地元の食堂ではアジアカエビのお刺身やフライはもちろん、牡蠣やタチウオなどの不知火海の名産に舌鼓を打つことができます。

（問）芦北町商工観光課 0966-82-2511



アジアカエビ天丼

お知らせ

◆くまモンファン感謝祭 in TOKYO◆

11月15日(土)ー16日(日)はくまモンが「よみうりランド」を乗っ取る！？

熊本県の大人気PRキャラクター「くまモン」が、なんと「よみうりランド」をジャック！？その名もー【くまモンランド大作戦】を開催！期間中は、くまモンが園内をまるごと“くまモン仕様”に乗っ取る！？スペシャルステージやフोटスポット、くまもとグルメも園内のいろんなところで「くまモン」と出会えるかも！？見つけたらラッキー！お子さまから大人まで、笑って・遊んで・くまモンと一緒に忘れられない一日を！詳細発表をお待ちください。

